

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第70回 ビジネス文書実務検定試験 (5.7.2)

第2級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- フォントの種類は明朝体とすること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第70回 ビジネス文書実務検定試験 (5.7.2)

第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

最近では、公衆電話を見かけることが少なくなった。かつては駅	30
や公園などに設置されていたが、携帯電話やスマートフォンの普及	60
によって年々減少している。しかし、その存在意義が見直されてき	90
ている。	95
災害が起きた際、安否の確認や緊急通報などで電話回線が混雑す	125
ると、スマートフォンは通信が制限される場合が多い。そのような	155
ときでも、公衆電話はつながりやすい仕組みになっている。電力が	185
電話回線を通じて供給されるため、停電時も使える。	210
ある小学校が使い方教室を開いたところ、受話器を持ち上げる前	240
に硬貨を入れたため、発信することのできない児童が見られた。ま	270
た、NTT東日本の調査により、約8割の子どもが公衆電話を利用	300
したことがないとわかった。このことを踏まえ、同社はポスターや	330
チラシを作成して、操作方法の周知に向けて取り組んでいる。	359
公衆電話は、緊急時でも有効な通信手段となるため、子どもに限	389
らず大人もその有用性を認識すべきだろう。ウェブページでは、	419
使い方や設置場所を簡単に確認できる。もしものときに備え、普段	449
から把握しておきたい。	460